

副専攻プログラム「統合的海洋管理学」

～「海洋」に関する学際的文理融合型教育～



「海」を修士の「副専攻」にしませんか？

これからの日本では、海に関わる問題を避けることはできません。

海に関わるテーマを研究している学生でも、就職をすれば、自分の専門分野以外の複雑に絡み合う様々な問題や利害関係、法律や環境、海運、海底資源など様々な知識をもとに、業務を行うこととなります。また、直接海に関わらない仕事でも、行政や教育、資源、流通、商社など、多くの就職先で海と出会うことも想定されます。

本副専攻プログラムでは、文理融合型教育を実施し、俯瞰的に問題を分析できる、社会で即戦力となる様な人材育成を行っています。

【コア科目「統合的海洋管理学」】

学内講師だけでなく、産官からゲスト講師を招き、海洋の今を学べます。

〈27年度春学期・26年度秋学期講師所属〉
(一社)海洋産業研究会、(国研)海洋研究開発機構、(株)商船三井、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構、笹川平和財団(旧:海洋政策研究財団)、国土交通省 海事局、海上自衛隊 幹部学校、内閣官房 海洋政策本部事務局、第三管区海上保安本部

【副専攻プログラム履修のメリット】

- ・副専攻プログラム **修了証を授与**
就職活動のアピールポイントに！
- ・独自の**海外派遣(短期留学)プログラム**を実施中
- ・本センターオリジナルの**体験科目を履修**できます
水圏環境リテラシー(シーカヤック体験)、臨海実習、海洋・海事フィールドワーク(海外研究機関等の見学)
- ・コア科目 統合的管理学ⅠとⅡの計4単位と各大学院で開講している関連科目6単位を取得すると修了。
関連科目は、修了要件に加算できる場合もあり、**最少で4単位の取得で、副専攻を修了**できます。

【統合的海洋管理学副専攻プログラムオリエンテーション】

日時：4月10日(月) 12時15分～12時40分

会場：中央図書館メディアホール

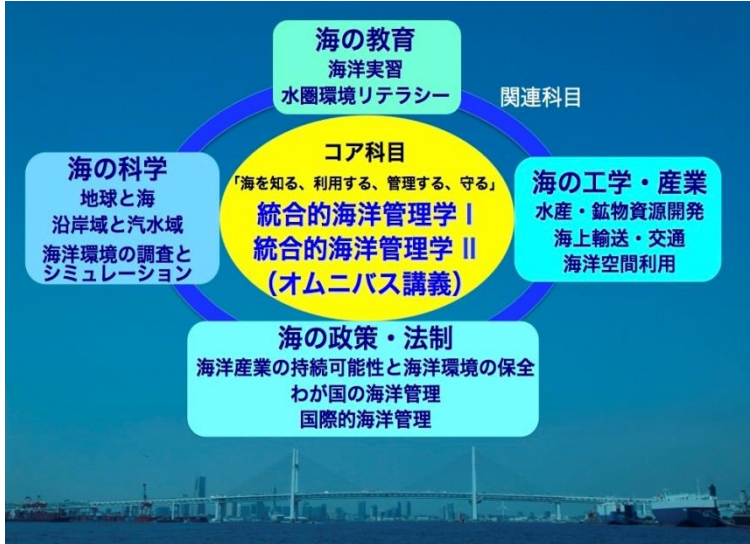
授業は当日の4時限から**環境情報1号棟305**でスタート！

注:海センターのパンフレットも参照。詳しくは以下の連絡先に問い合わせてください。

電話:045-339-3067 メール:kaiyo@ynu.ac.jp

ホームページ:<http://www.cosie.ynu.ac.jp>

「統合的海洋管理学」副専攻プログラムの概要



コア科目(計4単位)と関連科目6単位の取得でプログラムを修了

副専攻プログラム修了要件 下記10単位を取得

- ・プログラム特設科目(必修コア科目): 2科目4単位
海洋管理学Ⅰ・海洋管理学Ⅱ
- ・プログラム関連科目: 3科目6単位以上
指定科目から選択

※「海洋管理学Ⅰ・Ⅱ」はビデオ講義を受講することで、出席扱いとします。(海センター事務室での視聴)
※関連科目は、各専攻の修士課程修了に必要な単位と重複できます。

対象者: 修士・博士課程に所属する全学の大学院生
(文系・理系は問いません)

修了証: 修了者には「主専攻」の「修士号」に加え、「副専攻」の「修了証(Certificate)」を授与



【コア科目】統合的海洋管理学Ⅰ・Ⅱ ※どちらからでも履修できます。

<春学期>第11期 統合的海洋管理学Ⅰ

講義 回	H29年度	講義タイトル	担 当 (敬称略)	
			所 属 (役職)	講師名
	4/10(月)	オリエンテーション	場所:メディアホール(仮予定)	
1	4/10(月)	海洋政策概論	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 客員教授	中原 裕幸
2	4/17(月)	海と地球の歴史Ⅰ —地学編—	横浜国立大学 環境情報研究院 教授	石川 正弘
3	4/24(月)	海と地球の歴史Ⅱ —生物編—	横浜国立大学 環境情報研究院 教授	間嶋 隆一
4	5/8(月)	造船技術の歴史と将来	横浜国立大学 工学研究院 教授	荒井 誠
5	5/15(月)	島嶼地域と周辺海域の管理	(公財)笹川平和財団 アジア・島嶼国基金 研究員	小林 正典
6	5/22(月)	海洋学概論Ⅱ 生物	横浜国立大学 環境情報研究院 准教授	下出 信次
7	5/29(月)	海底資源の利用と可能性	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC) 金属資源技術部 海洋資源技術課長	岡本 信行
8	6/5(月)	海洋学概論Ⅰ 物理・化学	横浜国立大学 環境情報研究院 教授	菊池 知彦
9	6/12(月)	海上輸送の歴史と将来	(株)商船三井 営業調査室 主任研究員	吉本 亜土
10	6/19(月)	海洋技術のフロンティア	(国研)海洋研究開発機構 海洋工学センター 海洋技術開発部 グループリーダー代理	宮崎 剛
11	6/26(月)	海上気象と気候変動	(国研)海洋研究開発機構 大気海洋相互作用研究 分野 分野長	米山 邦夫
12	7/3(月)	沿岸域の防災・減災・危機管理Ⅰ	横浜国立大学 都市イノベーション研究院 准教授	鈴木 崇之
13	7/10(月)	港湾開発の歴史とその管理	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター客員教授	宮本 卓次郎
14	7/24(月)	沿岸域の防災・減災・危機管理Ⅱ	横浜国立大学 都市イノベーション研究院 准教授	鈴木 崇之
		試験(レポート提出)	(詳細 別途連絡)	

<秋学期>第11期 統合的海洋管理学Ⅱ (参考)

講義 回	H29年度	講義タイトル	担 当 (敬称略)	
			所 属 (役職)	講師名
	10/16(月)	オリエンテーション	大学院工学研究棟(S7-11)階702室	
1	10/16(月)	世界と日本の海洋史	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター客員教授	中原裕幸
2	10/23(月)	海の環境保全制度	横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授	加藤 峰夫
3	10/30(月)	海事活動の国際管理	国土交通省海事局 検査課課長 船舶検査官	森 裕貴
4	11/6(月)	水産資源の利用と持続可能な 水産業の姿Ⅰ	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 客員准教授	牧野 光琢
5	11/13(月)	水産資源の利用と持続可能な 水産業の姿Ⅱ	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 客員准教授	牧野 光琢
6	11/20(月)	海洋の安全保障	海上自衛隊幹部学校 教育部	八木直人
7	11/27(月)	市民の海洋利用と海洋リテラシー	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター講師	水井 涼太
8	12/4(月)	海センター主催シンポジウム	聴講及びレポート提出 (詳細 別途指示)	
9	12/11(月)	沿岸域の総合管理Ⅰ	(公財)笹川平和財団海洋政策研究所 主任研究員	古川 恵太
10	12/18(月)	沿岸域の総合管理Ⅱ	(公財)笹川平和財団海洋政策研究所 主任研究員	古川 恵太
11	12/25(月)	海洋再生エネルギーの利・活用	横浜国立大学 環境情報研究院 准教授	村井 基彦
12	1/15(月)	わが国の周辺海域を守る—海上保安 活動—	海上保安庁第三管区海上保安本部 アドバイザー	三木 基実
13	1/22(月)	海岸の保全、臨海部の開発と埋立て	横浜国立大学 都市イノベーション研究院 教授	中村 由行
14	2/19(月)	修了生による ポスターセッション	見学及びレポート提出 (詳細 別途指示)	

【関連科目】各研究科・学府で開催している講義とセンターオリジナル科目が指定されています。

黄色の科目は統合的海洋教育・研究センター オリジナル科目 専門外学生の履修歓迎!

教育学研究科

- 無機化学演習
- 地質学演習
- 体育社会学講義Ⅱ
- 人文地理学講義

国際社会科学府

- 国際法研究Ⅰ
- 国際法研究Ⅱ
- 沿岸域管理の法制度
- 海の環境法
- 海洋政策と法制特論
- 海洋・海事フィールドワーク(海外研修)
- *H29年度は開講せず

都市イノベーション学府

- 水圏防災論
- 水圏防災特論
- 地盤設計学
- 地盤設計特論
- 水圏環境論
- 水圏環境特論
- 都市基盤安全設計学
- 都市基盤安全設計特論

工学府

- リスクベースによる規則制定手法
- 海洋設計システム論
- 海洋宇宙システム工学論Ⅰ
- 海洋産業特論
- 海事流体力学
- 数値海事流体力学
- 海洋エネルギー工学入門

環境情報学府

- 海洋生物多様性学
- 海洋古環境学
- 海洋地球生命科学特別実験
- 浮体運動の数理モデル論
- 計算流体力学概論
- 生態リスクマネジメント理論
- 臨海実習
- 海洋生物環境学
- 生物海洋学